



## 6.10 国会前大行動と北東アジアの平和への動き

「九条改憲 NO! 政治の腐敗と人権侵害を許さない 安倍政権の退陣を要求する国会前大行動」が6月10日午後2時より開催されました。やや強い雨の中、2万4千人が傘やコートのいで立ちで、プラカードとともに国会正門前や公園沿いの歩道を埋め尽くしました。

第2次安倍政権は、発足以来5年半となりました。この間、集団的自衛権行使容認の閣議決定、安保法制（戦争法）や共謀罪など、憲法違反の法律を強行しました。さらに、平和主義の根幹である憲法九条を根底から覆す改憲に踏み出そうと、その機を窺っています。公文書の隠ぺい、改ざん、廃棄、虚偽答弁も繰り返され、民主主義を破壊し、国政を私物化し、政治を腐敗させてきました。労働者の権利を剥奪する悪法も「働き方改革」と称して強行されました。

「こんな政治はもう沢山だ」「政治を変えよう」「暴走に暴走を重ねウソを積み上げてきた安倍政治を総ざらいし、衆目にさらし、退陣に追い込もう」。このような願いや抗議が集会を支えました。市民グループ、ジャーナリスト、学者、地方議会や国会の議員から、安倍九条改憲反対、戦争法廃止、共謀罪廃止、IR(カジノ)法案廃案、TPP11承認反対、働き方改革一括法案廃案、森友・加計疑惑究明、沖縄辺野古新基地建設反対、オスプレイ配備反対、原発再稼働反対など、安倍政権を糾弾するスピーチが続きました。

最後に「私たちと野党が力をあわせれば、必ず退陣に追い込めます。安倍政権を終わらせるまで闘いを続けよう」との行動提起を全員で確認しました。

集会の2日後、歴史的な米朝首脳会談が行われました。「朝鮮半島の完全な非核化」と「北朝鮮に対する安全の保障の提供」が基本的に合意され、北東アジアの平和に向う政治的状況が生み出されました。日本政府は、平和構築のために積極的に貢献しなければなりません。平和主義を破壊する九条改憲を放棄し、集団的自衛権の行使容認の閣議決定及び安保法制の廃棄も求められます。(代田2丁目 坂本功)

## 前川喜平氏講演会「こども・いのち・きぼう」

### 一教育行政の現場から“学び”の現場へー 2018. 6. 24 に参加して

世田谷こどもいのちのネットワークがよびかけ、前川喜平さんを世田谷に呼ぶ実行委員会を立ち上げ、24の活動する団体の賛同で実現した講演会です。

呼びかけ人、稲野茂正さんの挨拶に続き、前文部科学事務次官、前川さんの話でした。まず、昨年の内部文書について「あったことをなかったことにできない」と、まさに時の人になったことについて、勇気ある信念を貫いたという人がいるが、実は成り行きでしたと経過をユーモアを交えて話されました。役人のときは、「うそをつかないが本当のことを言っただけではいけなかった」ので、今は言いたいことが言えて、開放されているそうです。

現在、夜間スクールでボランティア講師をしていることについて話されました。38年間教育行政の仕事をしてきたが、いつも現場が羨ましかったので、今現場に立っている。ただ、教員免許を持っていないので、自主夜間中学のボランティア（厚木と福島）なのだそうです。公立学校の夜間中学は全国に31校しかなく、首都圏と大阪周辺のみと初めて知りました。（四国にないのは獣医学部だけではないのです）夜間中学の話から、義務教育機会確保法（2016. 12）ができた経緯を詳しく話して下さり、今、全国で13万人いる不登校の子どもたちにも憲法26条が定める教育を受ける権利、23条の学問の自由、学校以外の学びの場を保障するために前に進めたいとおっしゃっていました。話のなかで憲法が当然のようにでできます。

また、学校に教科として導入された道徳についても話して下さいました。

休憩をはさんで、星野弥生さんの司会で、子育てママ代表橋本さん、若者代表原田さん、和光小学校北川校長の意見や質問、保坂区長も登壇し、これからの教育について話されました。

世田谷区民会館いっぱいの参加者（1200人くらい）で大盛況でした。

有意義な時間でした。

(代田4丁目・萱野 幸子)



## 只今炎上中

6月14日の朝日新聞のニュースQ3に出ている「RADWIMPS 新曲が投げかける『愛国』」という記事が気に入り検索してみました。アニメ映画「君の名は。」の主題歌で注目されたバンドRADWIMPS [ラドウインプス] の「HINOMARU」という新曲の歌詞が波紋をよんでいました。ご紹介してみます。

野田洋次郎 作詞 作曲

風にたなびくあの旗に  
古よりはためく旗に  
意味もなく懐かしくなり  
こみ上げるこの気持ちはなに  
胸に手を当て見上げれば  
高鳴る血潮、誇り高く  
この身体に流れゆくは  
気高さこの御国の御霊  
さあいざゆかん 日出づる国の御名の下に  
どれだけ強き風吹けど遥か高き波がくれど  
僕らの燃ゆる御霊は挫けなどしない  
胸に優しき母の声 背中に強き父の教え  
受け継がれし歴史を手に  
恐れるものがあるだろうか  
ひと時とて忘れやしない  
帰るべきあなたのことを  
たとえこの身が減ぶとて  
幾幾千代に さあ咲き誇れ  
さあいざゆかん守るべきものが今はある  
どれだけ強き風吹けど遥か高き波がくれど  
僕らの燃ゆる御霊は挫けなどしない  
僕らの沸る決意は揺らぎなどしない

この歌詞をみなさんどう思われますか。ネット上では軍歌のようだ、戦争を想起させるとの抗議や美しいと擁護する意見など炎上しているようです。

作詞した本人は「右も左も思想的なことではなく、この国のことを歌いたかった、傷つくひとがいれば謝ります」という。

私もこの歌詞を読んで驚き胸がざわつき思わず大きなため息が出てしまいました。

この歌詞はまさしく軍歌だと思いました。多くの若い世代がこのような歌に共感しているとすれば大日本帝国憲法へ回帰するような自民党の改憲案がスラッと通ってしまうような気がして空恐ろしくなります。

思うに学校教育で近現代史をきちんと学ばせなかった国の教育方針に起因しているのではないかと考えてしまいます。今、世界中が右傾化しているように思いますが、そうした大きな流れの中にあると思うと、どのように抗えばよいのでしょうか。その術を知りたいです。

(代田5丁目・日暮 恵子)



## 集会等の紹介

7月20日(金) 午後6時30分～

『戦争のリアル～安倍9条改憲がもたらすもの』

清末愛砂さん(室蘭工業大准教授)「戦場経験から『自衛の措置』問題を考える」

半田滋さん(東京新聞論説兼編集委員)「自衛隊の任務・装備はどう変化しているか」

場所: 文京区民センター3A室 資料代: 500円

主催: 戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

8月11日(土・休日) 午後1時30分～ 代田・九条の会

終戦記念日によせて 戦中の話を聞き語る会

「平和をわれらに」～朗読と音楽による作品～ すずきいくこさん

手記「原爆と母の死」(加藤裕子さん)より

場所: 下北沢ナザレン教会 礼拝堂(代田6-7-21)

資料代: 300円

お願い: ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。

また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう～